



SAP Ariba 

機能の概要

メッセージに関するレポートの作成

Jaideep Tungare、SAP Ariba
一般提供予定: 2019 年 8 月

CONFIDENTIAL

機能の概要

新機能: メッセージに関するレポートの作成

実装の難易度  ロータッチ/容易
関連する地域  グローバル

お客様の課題

Ariba Network で互いにやり取りする現在のバイヤーおよびサプライヤ向けメッセージ機能では、既存のメッセージのやり取りに加えて、レポート機能を備えていることが重要です。

これにより、企業は、メッセージのやり取りのコンテキストやパターンをより広範に理解できるようになります。このような役に立つ情報によって、取引先間のコラボレーションプロセスの合理化がさらに容易になります。

SAP Ariba でこの課題に対応

この機能により、バイヤーユーザーおよびサプライヤユーザーは、メッセージのやり取りに関するレポートを生成したり、メッセージ関連レポートのテンプレートを作成したりすることができます。レポート機能にアクセスできるバイヤーユーザー/サプライヤユーザーであれば、レポートテンプレートを作成して、レポートを生成することができます。生成されたすべてのメッセージレポートに次の情報が含まれます。

- メッセージのやり取りの開始日付
- メッセージのやり取りの件名
- メッセージの内容
- メッセージのコンテキスト (注文書、請求書、またはブロードキャスト)
- ドキュメント参照番号
- メッセージ作成者の Ariba Network ID (AN ID)

実現される主なメリット

これらのレポートを使用すると、特定のメッセージの検索や特定のドキュメントを対象にやり取りされた全メッセージの抽出などのタスクを簡素化することができます。

さらに、これらのレポートによって、ユーザーは、ビジネス上のメッセージのやり取りにおけるパターン (どの注文書が参加者間で多くのやり取りを要する結果となったか、など) を容易に分析することができます。

ソリューション領域

Ariba Network

実装に関する情報

この機能は、該当ソリューションを使用しているすべてのバイヤーおよびサプライヤに対して自動的にオンになっており、すぐに使用できます。

前提条件および制限事項

メッセージレポートを生成するユーザーは、Ariba Network のレポート機能にアクセスする権限を持っている必要があります。

